

震災に
備えよう

在宅避難の準備は

大丈夫？

震度6以上の揺れが想定される「首都直下型地震」が、今後30年以内に発生する確率は70%程度といわれています。「地震が発生したら避難所に行けばいい」と思っていませんか。避難所のスペースには限りがあり、プライバシーも十分に守れません。住み慣れた家でストレスの少ない在宅避難ができるように準備しましょう。

問 防災課 ☎0422-24-9102

在宅避難に必要なことは？

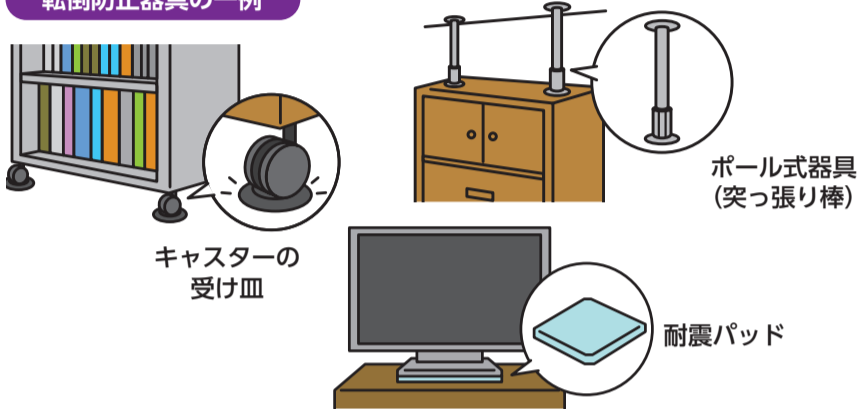
自宅の安全対策をしよう

在宅生活を送るためには、自宅での安全確保が必要です。

○家具の転倒・落下・移動防止

震災では多くの方が室内で家具の転倒などによりけがをしています。大切な命を守るために、転倒防止器具を取り付けましょう。

転倒防止器具の一例



○耐震診断・改修

市では木造住宅の耐震診断・改修工事費用の一部を助成しています。

耐震診断助成制度

対象	市内の個人所有の2階建てまでの木造住宅(空き家を含む)で、平成12年5月31日以前に着工されたもの(集合住宅を除く)
助成額	診断費用の3分の2(簡易診断は上限4万円、一般・精密診断は上限10万円)

耐震改修助成制度

対象	耐震診断助成制度(上記)の一般・精密診断を利用し、倒壊の可能性が「ある」「高い」と判定された住宅
助成額	改修費用の3分の1(高齢者・障がい者世帯は2分の1)。ただし、簡易改修は上限30万円、耐震基準を満たす改修は上限50万円

申問 事前に都市計画課(市役所5階52番窓口) ☎0422-29-9704へ

必要な物を備蓄しよう

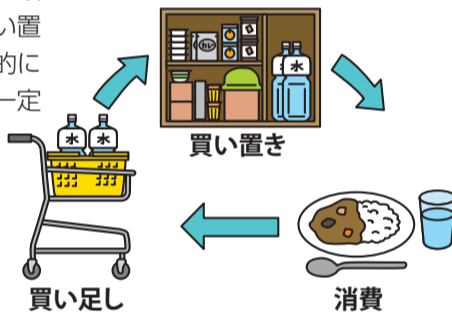
災害発生直後は食料や飲料、日用品の確保が難しくなります。3~7日間程度の備蓄をしておきましょう。

乳幼児用の備蓄やペット用の備蓄など、家族構成に合わせて検討しましょう。

- 飲料水** 目安：3日分で1人9リットル
- 食料品** クラッカーや缶詰などの調理しないで食べられる物や食べ慣れた物をローリングストック(※)すると便利です。
- 携帯トイレ
簡易トイレ** 目安：3日分で1人15回分

※ローリングストック

普段使っている食料や飲料、日用品を多めに買い置きし、生活の中で定期的に使いながら買い足し、一定の備蓄量を保つ方法。



自分に合った
備蓄を調べよう

「東京備蓄ナビ」(下記QRコード)では、家族構成などの3つの質問に答えるだけで、自分の家族に合った備蓄品目と必要量の目安が表示されます。



避難する場所は？

